

スポーツの価値を基盤とした授業づくりワークショップ (スポーツ庁委託事業)

開催日：2020年2月1日(土) 10:15~16:20

会場：国立スポーツ科学センター 研修室A・B
(東京都北区西が丘3丁目15-1)

主催：スポーツ庁、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構

協力：九州体育・保健体育ネットワーク研究会

<背景・目的>

平成29年3月に文部科学省より発表された第二期スポーツ基本計画では、その1つのキーワードとして、「スポーツの価値」が掲げられています。そして、そのスポーツの価値を通して、自分自身の人生や社会へ良い影響を与えること、世界とつながること、未来を創造していくことが記載されています。

さらに、我が国の高等学校学習指導要領には、平成25年度よりスポーツの価値という視点からの「ドーピング/アンチ・ドーピング」の指導内容が明記されています。令和4年度より実施される新学習指導要領においても、「スポーツの価値とドーピング」「スポーツの高潔さ」が学習内容に明記されており、スポーツに関わる全ての人に、スポーツの価値を一層高める関わり方が求められていることを理解する重要性が示されています。

本ワークショップでは、「スポーツの価値を基盤とした授業」を実施している先生からの実践例を共有頂き、参加頂いた皆さんに具体的なイメージを持って頂くことを目的としています。また、グループワークを通して、スポーツの価値を基盤とした教育の可能性と、保健体育の授業だけでなく、参加者ご自身のフィールドで実践につなげて頂けるよう具体的な展開および指導教材について検討します。

<プログラム(予定)>

10:00	受付開始
10:15-10:25	開会挨拶
10:25-11:05	主体的・対話的で深い学びの実現に向けたスポーツの価値を基盤とした教育 - 佐藤 豊(桐蔭横浜大学 教授)
11:05-12:05	スポーツの価値を基盤とした授業づくりと実践例
12:05-12:15	質疑応答
12:15-13:30	昼休憩
13:30-14:10	スポーツの価値を基盤とした授業体験(体育理論)
14:10-14:20	質疑応答
14:20-16:00	授業づくりグループワークおよびプレゼンテーション - グループワーク導入・説明 - グループワーク - プレゼンテーション・意見交換・質疑応答

16:00-16:10	講評 - 佐藤 豊 (桐蔭横浜大学 教授)
16:10-16:15	教材紹介 「スポーツの価値を基盤とした授業ガイド」 - 公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構 事務局
16:15-16:20	閉会挨拶 - 打谷 桂子 (公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構 教育・国際部 部長)

※記録のため録音、撮影を行います。ご理解、ご了承の程よろしくお願いたします。

<申し込み方法>

- ① 公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構ホームページ (<https://www.playtruejapan.org/>)のトップ画面より、「教育関係の方へ」を選択
- ② 「授業でアンチ・ドーピングを取り扱う方」または「部活動の指導をされている方」を選択
- ③ 「ワークショップへ申込」の中にある『スポーツの価値を基盤とした授業づくりワークショップ』をクリックすると表示される申込フォームより、必要事項を記入の上、申し込みください



この研修の参加により、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格の更新研修を修了したことになります。
ただし、次の資格については、更新研修を修了したことはありません。
[水泳、サッカー、スノーボード、テニス、バスケットボール、バドミントン、剣道、空手道、バウンドテニス、エアロビック(コーチ4のみ)、チアリーディング(コーチ3のみ)、スクーバ・ダイビング、プロゴルフ、プロテニス、プロスキー、スポーツドクター、スポーツデンティスト、アスレティックトレーナー、スポーツ栄養士、クラブマネジャー](2019年4月1日現在)
詳細は日本スポーツ協会のホームページをご確認ください。

当日、登録番号がわかるものをご持参ください